

あんぜんだより

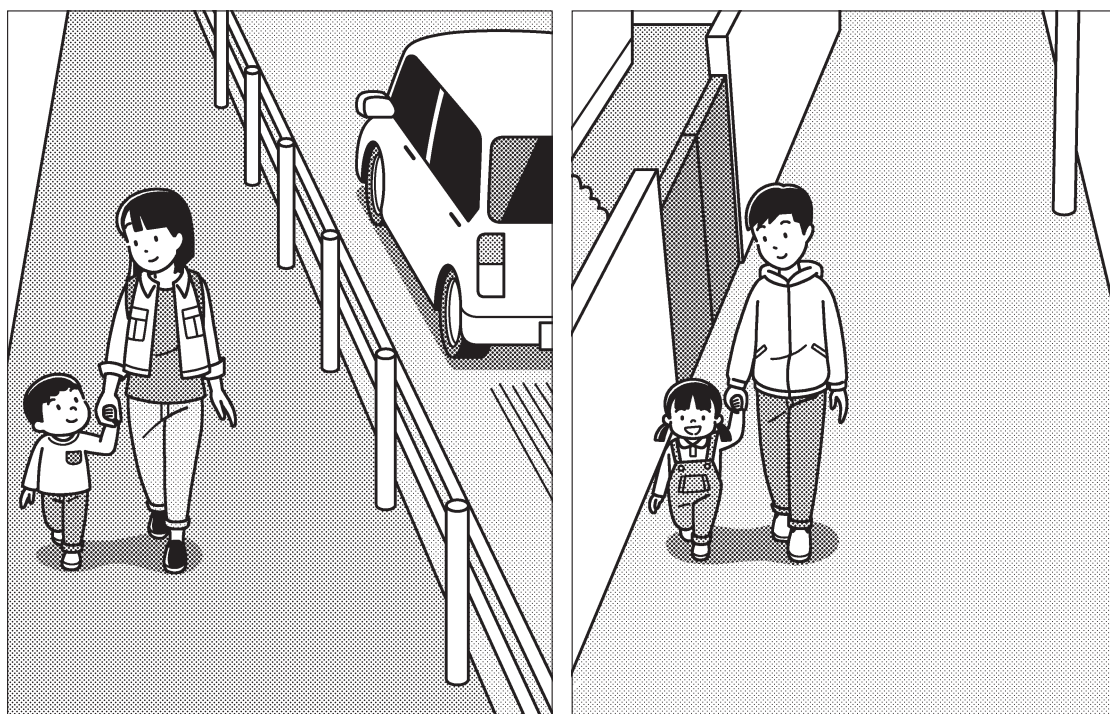
監修 全国学校安全教育研究会／東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石晃子先生



「外出時には手をつなぐ」 安全な生活のための基本

入園、進級おめでとうございます。年中クラス、年長クラスの子どもたちや保護者の皆様にとっては、繰り返しお伝えしていることですが、外出をする時には、必ず保護者と子どもがしっかりと手をつなぎ、出発から帰宅まで安全に過ごせるようにしてください。

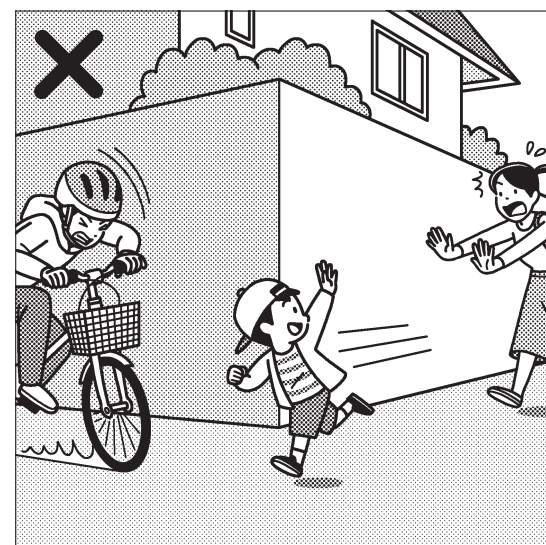
しっかり てを つないで あるこう



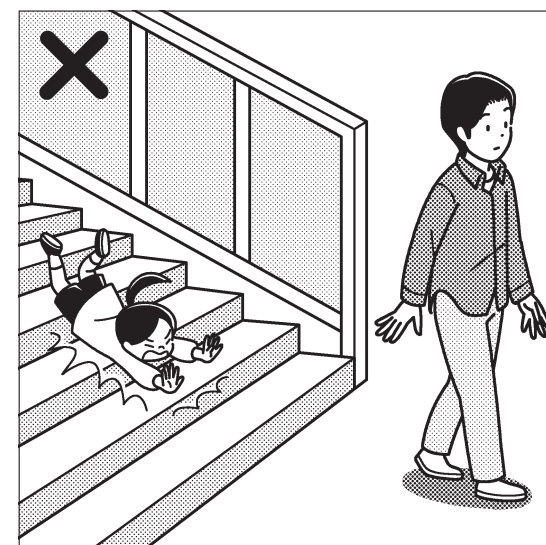
うちの そとでは かならず うちの おとなの ひとと てを つなごうね。みちを あるく ときには くるまに きをつけて ほどの ななか みちの はしを あるこうね。

保護者の方へ 毎日を安全に過ごすための基本は、「安全な道の歩き方」を身につけることです。「家の近所だから」「ほんの少しの時間だから」と油断をせず、保護者は必ず子どもと手をつなぐようにしてください。子どもの転倒や、急な飛び出し、迷子になってしまう危険性を減らします。そして、道を歩く時には、必ず歩道を歩くことが大切です。車道と歩道の区別がないような細い道では右側通行が原則ですが、まずはできるだけ道の端に寄ることを心がけ、自動車や自転車、ほかの歩行者に十分に注意して歩きましょう。

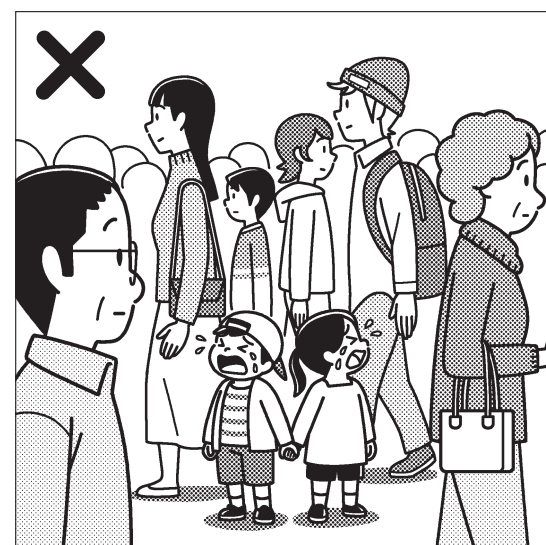
てを つないで いないと どんな ことが あぶないのかな？



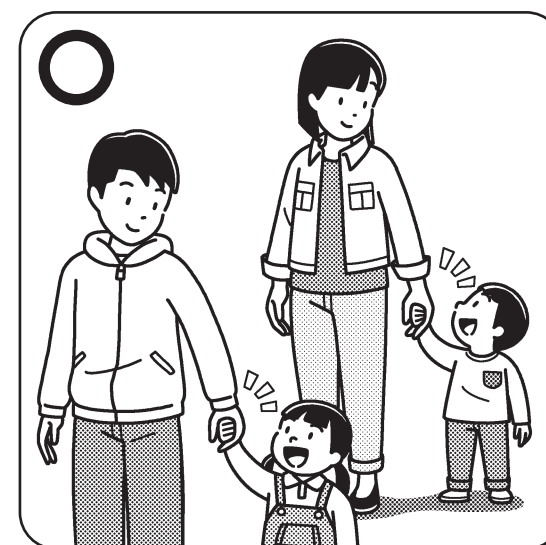
こうつう じこに あって しまうかも しれないよ。



ころんで けがを して しまうかも しれないよ。



ひとの おおい ところでは だから うちの そとでは まいごに なって しまうよ。 かならず てを つなごうね。



5月号では「道を渡る時の約束」について取り上げます。